

# 加東市の文化

井上大幹・小林ななみ・野口稜太・藤井翔太

キーワード：食文化，飲食店，ネパール料理，チェーン店，加東市，兵庫県

## 1. はじめに

文化を構成するものの一つとして食文化がある。加東市にはチェーン店や海外料理の飲食店が多く、特にチェーン料理店など他地域から進出してきた店であると推測されるが、ファミリーレストランをはじめとする全国的に展開している飲食店が多い中、加東市に根付いたと見られる料理店が見当たらないことに疑問を抱いた。加東市の食文化を明らかにするにあたって、加東市従来料理はどのような料理であるのか、また現在のような店舗が進出してきた背景にはどのようなものがあるかという2つの観点から食事の種類・店の分布及びその関連性などを過去と現在を比べながら調べ、特徴を捉えることで加東市の食文化に迫る。

事前調査では、様々な飲食店がありネパール料理店も存在した。一方、在日外国人の中でも一番多いのはベトナム人だがベトナム料理店は一店もなかった。今回のテーマにおいて、加東市は標準子午線を通っており日本の中心付近に位置しており、様々な文化が流入した影響で料理店の種類が多岐にわたっているのではないかという仮説を立てた。また、ベトナム料理店がない理由の一つは、ベトナムという国が宗教的に日本と似ており、ヒンドゥー教徒が人口の割合の約81%を占めるネパールと比べて食事の制限などが無いのではないかと考える。加東市の過去の食文化の実態を知るために、図書館でインターネットを併用しつつ文献研究をする。大学内の図書館だけでなく市立図書館においても調査を行い資料の確実性を高める。また、現在の食文化の実態に迫るために飲食店や寺社での聞き取り調査など現地調査を行う。実際にネパール料理店に行き、寺社についても調べ加東市の主な宗教という面からも食文化について調査する。

## 2. 調査結果

### (1) 加東市の概要

加東市は、兵庫県の中央部やや南よりに位置しており、東は丹波篠山市、三田市、南は小野市、三木市、西は加西市、北は西脇市と隣接している。面積は157.55㎢である。

加東市の気候は、平均気温は14.4℃、平均年間降水量は1,448.0㎜、瀬戸内気候の特徴を有しており、一年を通して比較的温暖な気候となっている。また、晩秋から冬季にかけては霧が発生しやすい。地形は、加古川などの河川に沿って河岸段丘と沖積平野が形成されており、南部には嬉野台地、加古川右岸には青野ヶ原の丘陵地などがある。また、北部から北東部にかけては中国山地から連なる御嶽山、源平古戦場三草山、五峰山などがある。河川は、加古川、その支流である東条川、出水川、千鳥川、吉馬川、油谷川などが流れている。また、多数のため池が存在しており、農業用水として活用されている。

人口は、2020年3月末時点で40,214人となっており、内訳は男性が19,783人、女性は20,431人である。地区別にみると、1番人口の多い地区は2020年3月末時点で社地区で

12,996人、次いで滝野が12,283人であり、総人口のおよそ半分をこの2地区が占めている。加東市の産業別就業人口は、2015年時点で第一次産業が913人、第二次産業が7,070人、第三次産業が11,210人となっている。主な産業として、農業は山田錦の栽培が盛んであり、日本酒の原料として高値で取引され、全国各地に出荷されている。工業は4つの工業団地があり、製造業や流通業が進出している。また、播州針や鯉のぼりといった伝統産業も盛んである。

交通面では、兵庫県の幹線道路である国道175号線や国土幹線の中国自動車道が走り、北播磨の交通の要所となっている。鉄道はJR西日本の加古川線、バスは神姫バスや中国ハイウェイバス、津山エクスプレス京都号、山崎三宮線などの高速バスがあり、三宮などの都市部にも行きやすい。

歴史的な背景としては、2006年に加東郡社町、滝野町、東条町が合併してできた市である。市としては比較的新しいが、三草山など歴史的な遺産は数多く残されている。また、長光寺や上鴨川神社の神事舞など国の指定文化財も多く存在している。

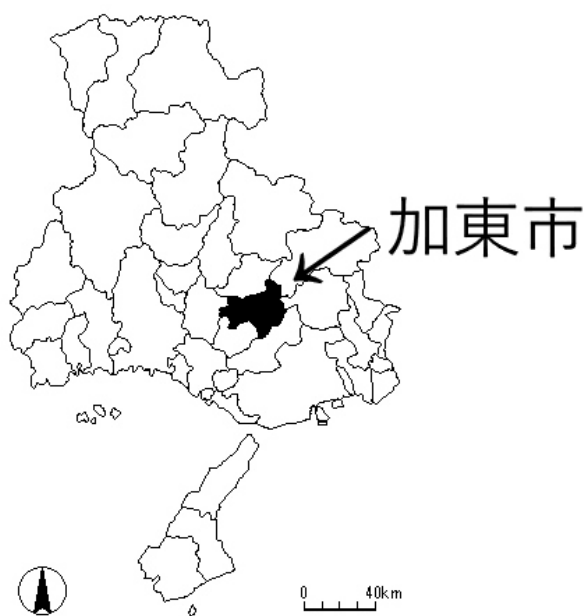


図1 加東市の位置

## (2) 飲食店

表1は、タウンページとGoogle Mapsを用いて作成した、加東市の飲食店数である。調査の結果、加東市には2020年9月時点で、全部で146店舗の飲食店が存在することが分かった。

表1から、加東市に一番多い飲食店は、カフェ・喫茶店であり、35店舗あった。次に多い飲食店は居酒屋・バー・スナックで22店舗であった。逆に最も少ない飲食店は串揚げ・串カツ、たこ焼き、カレーハウス、インド料理でそれぞれ1店舗であった。

今回調査の対象としている外国料理店は、インド料理店が1店舗、フランス料理店が3

店舗、中華・中国料理店が7店舗の計11店舗であった。さらに、中華・中国料理を出している店はラーメン店も加えると15店舗もあり、加東市の飲食店の中でも存在感があるということが分かる。

図2は、加東市の中華・中国料理、ラーメン店の分布図である。図から、中華・中国料理店とラーメン店は主に2か所に集中して立地していることが分かった。

まず、1番多く店舗が分布しているのは、JR西日本滝野駅周辺である。滝野駅を囲むように立地しているが、中華・中国料理店よりも、ラーメン店のほうが多いことが見てとれる。2015年には年間で100,086人が滝野駅を利用しているが、このように滝野駅を利用する人々をターゲットとするために店を構えているのではないかと考えられる。

次に多く分布しているのは県道567号線沿いである。こちらは、中華・中国料理店のほうがラーメン店よりも多く分布している。店が立地している場所は、加東市の中心地である加東市社の街中や国道175号線と社の間であることから、社に住む人々や国道175号線方面から社に来る人々が、立ち寄りやすいところに立地しているのではないかと考えられる。

図3は、外国料理店の分布図である。図から中華・中国料理店のほか、インド料理店やフランス料理店も社や滝野駅の周辺に分布していることが分かった。また、フランス料理店は社パーキングエリア付近にも立地しているため、中国自動車道を利用する客もターゲットにしているのではないかと考えられる。

以上から、加東市の外国料理店は主に滝野や社など人口の多い地区に多く分布していることが分かる。また、鉄道や大きな国道につながる県道、パーキングエリア付近に多く分布していることから、飲食店の分布には交通事情も大きく関わっていることが伺える。

表1 加東市の飲食店の種類とその店舗数

ジャンル	店舗数
インド料理	1
カレーハウス	1
串揚げ・串カツ	1
たこ焼き	1
ファストフード	2
弁当	2
うどん・そば	3
フランス料理	3
お好み焼き	4
寿司	4
菓子屋	5
焼き鳥	5
焼肉	6
中華・中国料理	7
ラーメン	8
レストラン	9
飲食店・食堂	12
料亭・仕出し	15
居酒屋・スナック・バー	22
カフェ・喫茶店	35
合計	146

出所 職業別タウンページ 兵庫県北播磨版(2019.11)より作成

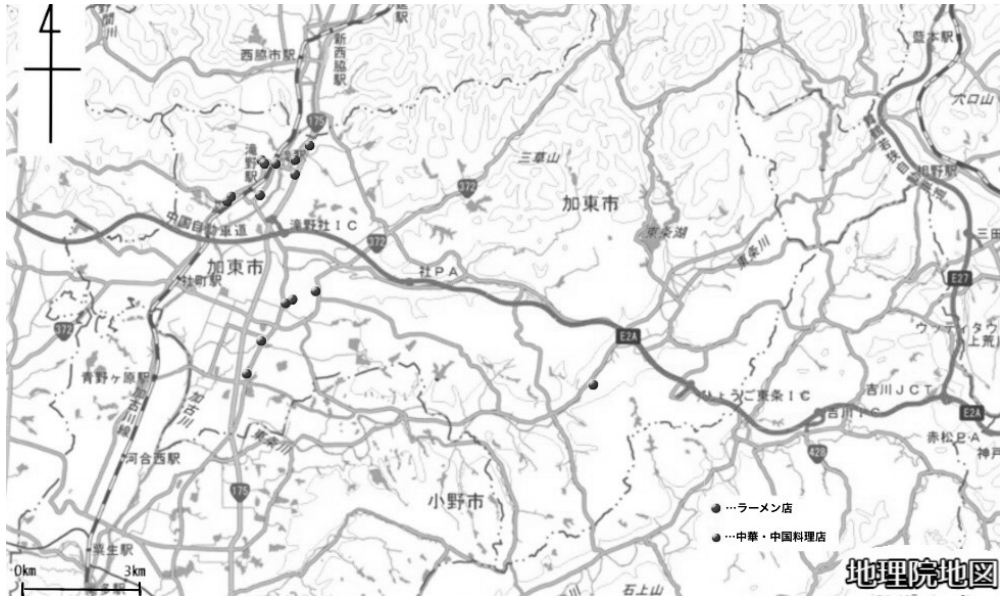


図2 加東市の・中国料理・ラーメン店の分布

出所：職業別タウンページ 兵庫県北播磨版（2019. 11）より作成

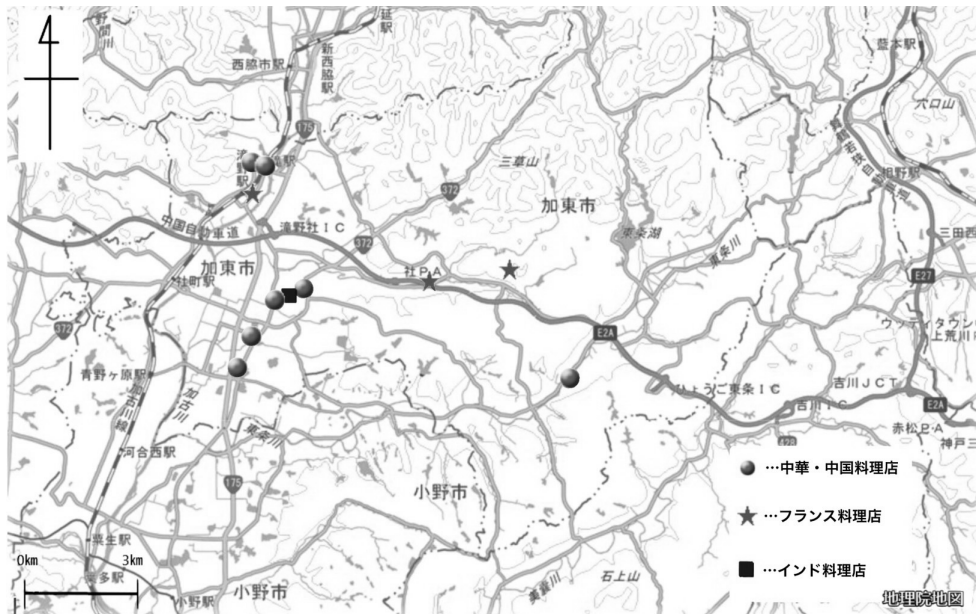


図3 加東市の各国料理店の分布

出所：職業別タウンページ 兵庫県北播磨版（2019. 11）より作成

### (3) ネパール料理店

加東市唯一のネパール料理店である「インドネパールダイニングカフェ ムナル社店」を訪れた。

ムナルは、加東市の中で一番人口の多い加東市社の神戸地方法務局社支局の向かい側に位置している。大通りから少し入ったところにあり、周りは住宅が多い。駐車場は4台分とやや少なめである。

メニューは、カレーが25種類と一番多いが、そのほかにもタンドリーチキンなどのインド料理や、サモサなどのネパール料理も提供されている。値段は300円から一番高いものでも1,500円であり、リーズナブルな価格帯である。写真3は、カレーとナン、サラダ、ドリンクがセットになったセットメニューである。カレーは日替わりも含め複数の種類から選ぶことができる。また辛さも調整が可能のため、小さな子供でも食べやすい。ナンはバケットからはみ出るほどの大きさで、ボリュームがあるが足りない場合は追加でナンを頼むこともできる。店内は、テーブル席以外にも座敷もある。

客層は、親子連れや高校生などが中心であり、老若男女あらゆる年齢層の人が来店していた。住宅地に近いこともあり、地域の人々が気軽に訪れられる場所になっているようだ。

また、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、商品のテイクアウトが実施されていたり、兵庫教育大学の学割サービスに参入していたりと地域の人々のためにあらゆるサービスが行われている。



写真1 ネパール料理店の外観  
筆者撮影 2020年12月2日

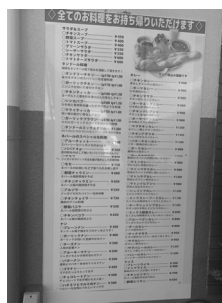


写真2 メニュー  
筆者撮影 2020年12月2日



写真3 セットメニューの様子  
筆者撮影 2020年12月2日



写真4 持ち帰りを宣伝する旗  
筆者撮影 2020年12月2日

### 3. 考察

調査の結果より加東市にはさまざまな種類の飲食店があることがわかった。まず、地図からわかるように飲食店の分布として、どの種類の飲食店も加東市のなかでも、社や滝野に多く分布しており、人口の分布や交通事情が関係しているのではないかと考えた。ただし、仮説の一点目で考えていたように、兵庫県における加東市の位置と飲食店の種類が多岐にわたっていることとの明確な関連性はあまりみられなかった。

また仮説の二点目について、調査結果よりネパール料理店は宗教との関係は現段階では薄いのではないかと考えた。これは、この店の駐車場が車4台分であることや現地調査の様子から、主な客層としてはこの店の近隣の住民や付近の学校の学生などと考えられるためである。このことより、加東市の在日外国人のなかで最もベトナム人が多いにも関わらずベトナム料理店がない理由として、ベトナムという国が宗教的に日本と似ており、イスラム教徒が多いネパールと比べて食事の制限などがないのではないかという宗教的な問題を取り上げたが、ネパール料理店については宗教との関係は薄いと考えられ、ベトナム料理店が加東市にない理由についても明確な理由を取り上げることはできなかった。

### 4. おわりに

今回の調査はコロナウイルス感染症流行のもとで行われたため調査方法に制限があった。そのため、現地調査ではインタビューを行うことができず、不確定な情報もあった。もともと小野にあった店が移転してきたということの確認や客層などを明らかにすることができなかった。さらに、コロナウイルス感染症流行によって、調査時から現在にかけて飲食店が閉店してしまった可能性もあるため、正確でない可能性があるなど不本意な結果になってしまった。しかし、できる範囲での調査により、加東市には多岐にわたる種類の飲食店があることと、その分布を明らかにできたこと、ネパール料理店と宗教の関連性について客層などから関係性が薄いと考察できたことなどは収穫であった。このように、まだまだ明らかにしきれていない点もあるので、そのことは今後の研究課題として調査していきたいと考える。

### 参考 URL

- ・加東市ホームページ  
<https://www.city.kato.lg.jp/material/files/group/36/0203.pdf> (2020年12月17日アクセス)
- ・「外務省 ネパール連邦民主共和国」<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/nepal/data.htm> (2020年12月21日アクセス)
- ・職業別タウンページ 兵庫県北播磨版(2019.11)
- ・iタウンページ <https://itp.ne.jp/?area=28228> (2020年9月4日アクセス)
- ・ネパールダイニングカフェナムール社店 - 滝野 / カレー  
<https://tabelog.com/hyogo/A2804/A280403/28049347/> (2020年9月5日アクセス)